

令和7年度 横浜市私立幼稚園等施設整備費補助金の事業概要

1 事業の趣旨

幼稚園及び認定こども園が実施する園舎の老朽化に伴う修繕工事に要する経費の一部を補助することにより良好な教育環境を維持することを目的とするものです。

2 補助対象事業の内容

令和7年4月1日以降に着工し、令和8年3月16日までに完結する工事で、下記の項目にすべて該当するもの。

- (1) 神奈川県認可（幼保連携型認定こども園については横浜市の認可）を受けている園舎の1件**200万円以上（税込み）**の老朽部分等の修繕工事
- (2) 1件とは、同一内容または同一部分の工事を指します。
- (3) 修繕工事とは、次の工事です。
 - ア 屋根工事（屋根面のふき替え、防水工事等）
 - イ 床・天井工事（床・天井の取替え及びこれに付帯する塗装工事等）
 - ウ 内・外壁工事（壁面を造る工事・補修工事・防水工事及び塗装工事等）
- (4) 同一部分の修繕は、補助を受けてから10年を経過しているもの。
- (5) 同一年度内に2件以上の申請はできません。

※対象にならない事業

- ・ 備品類の購入、遊具の補修、設備等（水道配管、トイレ、エアコン等）の更新等
- ・ 園庭や外構、門扉、フェンス等に要する経費

3 補助額

補助対象経費の1／2以内で、**100万円を限度**とします。（予算の範囲内）

4 注意事項

- (1) 予算の範囲内で補助しますので、申請件数によっては、補助対象外とさせていただく場合があります。（令和6年度実績：申請37園、補助対象28園）
- (2) 本市補助金は、原則として市内事業者が発注する補助事業者等に補助を行うこととなっています。詳細は、裏面「6 市内事業者優先及び見積書等について」をよくお読みください。

5 市内事業者優先及び見積書等について

横浜市からの補助対象となるための条件は以下のとおりです。

※ 「市内事業者」とは、本社が横浜市内にある業者です。

支店や営業所が市内にあっても、本社が市外の場合は対象外

種 別	横浜市からの補助対象となるための条件
工 事	<ul style="list-style-type: none">・ 1 億円以上の工事は、原則市内事業者による一般競争入札を実施・ 1,000 万円以上 1 億円未満の工事は、市内事業者 8 者以上の指名競争入札又は市内事業者 5 者以上の見積合せを実施・ 1,000 万円未満の工事は、市内事業者 2 者以上の見積合せ実施・ 見積合せを実施した場合は単価の安い事業者を選定

6 「申請予定調査票」提出後の事務手続きについて

(1) 補助対象園の内定

7 月下旬までには、補助対象になるか、ならないかご連絡します。

(2) 内定園の申請書類提出

補助金対象となった内定園は、申請書類等を 8 月下旬に提出いただきます。

・ 提出書類

①交付申請書（第 1 号様式）

②修繕事業計画書（細目第 5 号様式）

③平面図、立面図（施工箇所がわかれば設計図面でなくても構いません。）

④工事見積書（内訳書含む）

ア 1 千万円以上の工事は、市内事業者（市内に本社があるもの）5 者以上の工事見積書

イ 1 千万円未満の工事は、市内事業者（市内に本社があるもの）2 者以上の工事見積書

※見積合せをして金額が低い方と契約してください。

⑤工事箇所の写真（施工前の写真を、A 4 の用紙 1 枚に 3 つ程度表示し、施工箇所を明記してください。）

※補助対象園の内定後、申請を辞退する場合は速やかにご連絡ください。

（次点の園を補助対象に繰り上げる都合上、ご協力をお願いします。）